

赤間正明・県議会質問実績特集！

安全・安心な生活を推進！

これまで防災対策、新型コロナウイルス感染症対策、医療、福祉、教育問題等多岐にわたって質問してまいりました。この度、防災対策、ヤングケアラー問題、デジタル障害者手帳、飲酒運転根絶対策事業等が実現しましたので、ご報告いたします。



(質問を行う、赤間正明)

実現『ヤングケアラー支援体制強化』の新規事業はじまる！

赤間：国において、家族の世話や介護を担う子ども、いわゆるヤングケアラーに関する実態調査を初めて行いました。中学生は17人に1人、高校生は24人に1人のヤングケアラーがいることが明らかになりました。内容は食事の準備や洗濯といった家事が多く、幼い兄弟の世話、祖父母の介護や見守りと多岐に渡っており、そうした世話に費やす時間については7時間以上を費やしている生徒が、1割を超えていたということです。本県においても実態を把握することで、具体的な支援策につながると考えます。そこで伺います。 **本県におけるヤングケアラーの実態はどうか。実対把握の調査を行うべきでないか。教育現場におけるヤングケアラー支援につながる取り組みはどうか。**

ヤングケアラー支援体制強化事業『新規』 予算 8,680 千円

1. 事業の目的・概要

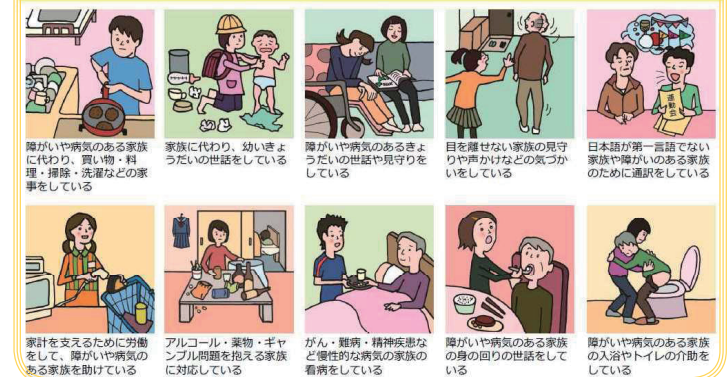
ヤングケアラーは家庭内の問題で、支援が必要でも表面化しにくい。ため、実態調査を行い必要な支援体制構築につなげる。

2. 主な事業

- (1) ヤングケアラー県内実態調査 (2) 関係機関職員研修

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



より安心のくらしを推進！

新規事業

◆押切橋が(仮称)「旧江戸川橋梁」として事業化決定！

交通渋滞の解消と防災力強化を！



東京都江戸川区と千葉県葛南地域には江戸川・旧江戸川に隔たれ、都県間の移動の際には限られた橋梁に交通が集中することから、慢性的な交通渋滞が発生しており、都県間の交流・連携の妨げとなっています。都県間の交流混雑の改善を図るとともに、災害時の代替性の確保など、防災力を強化するため、旧江戸川を渡河する新たな橋梁の整備を行います。この写真はイメージです。

◆市川市地域の「駅ホームドア」整備の加速を！

赤間：「ホームドア設置の見直し」についてはどうか。

千葉県は、「JR 東日本の計画では、市川駅の各駅停車ホームが令和7年度末までに、快速ホームが令和14年度末頃までに、本八幡駅は令和7年度末までに、それぞれ整備することとなっている。また、東京メトロの計画では、東西線の千葉県区間の駅について、西船橋駅は令和6年度までに、その他の駅は令和7年度までに、それぞれ整備することとなっている」と回答。



◆障害者手帳アプリ「ミライロID」の導入！

「ミライロID」で便利に！

千葉県では障害のある方の施設利用の利便性の向上を図るため、県の施設で利用料金等の減免を受ける際に、障害者手帳の提示に代えて障害者手帳アプリ「ミライロID」を利用できることになりました。



♥ 障害者手帳「ミライロID」とは？

スマートフォン用のアプリで障害者手帳の情報をアプリ内に登録すると手帳情報がスマートフォンの画面に表示され、その画面を提示することで、利用料金等の減免を受けることができます。現在、全国の公共施設や交通機関等において普及が進んでいます。



公明党千葉県議会議員 赤間正明

◎ホームページ・<http://www.komei.or.jp/km/akama/>

◎メール・masaakia36@gmail.com



「FacebookのQRコード」

◎赤間まさあき・プロフィール 昭和36年10月、宮城県仙台市生まれ、創価大学卒業、千葉県議会議員6期目、商工労働常任委員会委員、公明党千葉県本部幹事

皆さんからいただいた（声）が大きく前進！

●災害対策：

水道事業の停電対策として 非常用自家発電機及び燃料タンクの増設

災害等による停電時にも、安定して水を供給できるよう、浄・給水場等における非常用自家発電機の増強や燃料タンクの増設を実施します。



妙典給水場

●SDGsの推進：

「ちばSDGsパートナー登録制度」を創設

2030年までのSDGsの達成に向け、昨年11月に「ちばSDGsパートナー登録制度」を創設。1月から2月までの第1回目の募集を行い325の企業・団体が登録。今後、県内金融機関や経済団体が結成した「ちばSDGs推進ネットワーク」と連携し、新たな展開を促してまいります。

●脱炭素社会の実現へ：

海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業創設

2050年までに二酸化炭素、CO₂などの温室効果ガスの排出を実質ゼロにする目標を盛り込んだ改正地球温暖化対策推進法が成立、「脱炭素社会の実現」が法的に位置づけられました。千葉県「銚子沖・洋上風力発電」は、昨年「発電事業者」が決定し、県内企業の参入も促進。いよいよ令和10年9月に発電開始の予定！今後も「いすみ市沖」等が期待されます。



●女性の雇用環境：

千葉県ジョブサポートセンターの充実

中高年齢者・出産を機に離職した子育て中の女性の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、市町村出張セミナー（オンデマンド）や相談会の開催や女性チャレンジ応援事業やシニアワーカー活躍促進事業（新規）を実施します。



●教育環境：

「学校生活アンケート調査」郵送方式の導入

小学生に対する「教師による体罰・セクハラ」を防止するため、希望すれば千葉県主催の「学校生活アンケート調査」の回収方法として「郵送方式」が可能となりました。

郵送数 484 通：セクハラ 6 通 (1.2%)、体罰 23 通 (4.7%)、
教師の指導に対する不満等 327 通 67.5%
学校が楽しい 128 通 26.4%



学校での情報通信技術（ICT）推進

県立高等学校のプロジェクター整備、県立特別支援学校における通信環境等の整備を行います。

●児童虐待防止対策：

児童相談所の機能強化

児童虐待事案等に適切に対応するため、人員配置の強化や施設整備等により児童相談所の機能強化を図ります。児童相談所の新設、児童相談所の建て替え、人員配置の強化

●飲酒運転根絶対策：

飲酒運転根絶に向け～広報・啓発事業

飲酒運転根絶に向け、その危険性を改めて周知するため、あらゆる機会を活用した広報活動等を実施。インターネットを活用した広報啓発活動を実施します。

「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」には、「県民」に対し飲酒運転をしている者を発見したときは、警察官に通報するという「通報義務」が明記されました。

